



【体験談】賃貸が手狭になっても…

「マイホームなんて無理」と思っていた私たちが納得の家づくりにたどり着いたご家族

「この部屋、そろそろ限界かもね…」

ある日、2人の子どもがリビングで追いかっこをしていたとき、夫婦はふとそう感じました。

夫は38歳、年収450万円。妻はパート勤務。

住んでいる賃貸は手狭になり、子どもたちの成長を考えると、そろそろマイホームも…という思いが膨らみます。でもすぐに、現実の壁にぶつかりました。

- 希望は自然素材の4LDK。でも、土地と建物の費用が予算を大幅にオーバー
- 教育資金も必要。頭金や援助もなし
- 「うちなんかマイホーム、やっぱり無理かな…」

そう悩んでいたとき、ある工務店のLINE相談に出会いました。

「まずは全体の資金を把握しましょう」

という言葉に背中を押され、相談を申し込みました。そこから一步步進んだ結果——

1. 自分たちが無理なく返せる借入額(3,000万円)を明確に
2. 叶えたい希望を“金額ベース”で見える化し、優先順位を整理
3. 妻の職場に近いエリアで、土地を500万円抑えて再検討
4. 子ども部屋は可変性のある作りにし、間取りを工夫して平屋3LDKに

あのときの「無理かな…」は、

今では「本当に相談して良かった」に変わっています。家づくりに正解はありません。

でも、自分たちに合った方法は、きっと見つかります。

もし少しでも今の暮らしに不安やモヤモヤがあるなら、

あなたも一度、相談してみませんか？LINEでいつでもご相談ください。